



ご関係者の皆様、明けましておめでとうございます！本年もどうぞよろしくお願ひ致します。  
福島市ロケツアーリズム推進会議事務局の鈴木と金澤です。  
エール放送開始まで3か月を切りましたね。今年は福島の飛躍の年となりますように。  
それではエール通信第4号もどうぞお付き合いください。

**その1** 福島市役所の文化振興課で古関裕而さんや金子さん、楽曲にまつわるエピソードを  
**2月28日まで募集**をしております♪

### 【テーマ】

- ①わたしの人生の中の古関裕而夫妻との「思い出・エピソード」
- ②古関裕而氏の楽曲に励まされた、元気をもらった「思い出・エピソード」

上記のエピソードをお持ちの方、もしくはお知り合いの方でエピソードをお持ちの方がいらっ  
しゃいましたら代理でも構いません！ぜひご応募下さい♪

※住所（県まで）、氏名、エピソードは一般公開が原則となり、取材をさせて頂く場合もござい  
ます。

今後のまちづくり事業に活用させて頂きたく、何卒ご協力をよろしくお願い致します♪

### 【応募方法は3パターン！】

- ①福島市役所文化振興課のホームページ内に開設された応募ページから応募。  
こちらからご応募いただけます⇒ [古関エピソード応募ページ](#)
- ②〒960-8601 福島市五老内町3-1 福島市役所文化振興課 宛へ郵送。
- ③福島駅西口案内所の特設応募スペースにて応募用紙に記入して投函。



福島駅西口案内所の応募特設スペース



### 【エピソード例】

私は小・中学校と古関裕而氏が作った校歌で育ちました。毎年5月に開催される鼓笛パレードでは、各小学校とも校歌と歌謡曲など2曲を演奏しています。私の通った小学校では6年生のみがその鼓笛パレードに参加できるため、5年生の時に、上級生から校歌の演奏や演技を、各楽器ごとに習う事になっていました。早く鼓笛の校歌を習いたくて5年生になるのが楽しみで仕方ありませんでした。

待ちに待った念願の5年生になり、放課後に上級生から演奏・演技の仕方やコツを習うのですが、のびやかに歌うように演奏する部分、クレッシェンドして盛り上がる部分、小節と小節の間の息継ぎなど、小学生でも演奏しやすくわかりやすい曲になっていて、何度練習をしても飽きることなく、何度でも演奏・演技をしたい素敵な校歌でした。

鼓笛パレード本番を無事に終わると、今度は自分たちが後輩へ校歌の演奏・演技を引き継ぎます。先輩方に習ったように、1小節ずつ丁寧に伝えていきます。後輩たちが上手に校歌を演奏できるようになる姿を見て、達成感に背中を後押しされて、自信をもって全員で中学校へと進学できました。

今でも校歌を口ずさむと何十年も前にタイムスリップできます。私の大切な1曲です。

古関裕而さんとお会いしたことがなくても、実は古関裕而さんは身近な存在だったりします♪特に小学校・中学校時代にお世話になっている方も多いのではないのでしょうか。

古関裕而記念館には、古関裕而氏が作曲を手掛けた全国の校歌一覧や、映画などの曲なども掲示されています。この機会に、ぜひ母校の校歌を思い出したり、かつて楽しんでご覧になっていた映画やテレビ、ラジオから流れていたメロディなど、皆様の懐かしのあの頃にタイムスリップしてみてくださいね。

そして、素敵なエピソードを思い出して頂いたら、ぜひご一報ください♪お待ちしております！！

## その2 待望の古関裕而自伝『鐘よ鳴り響け』文庫本が出版されました！！



♪半田山へ小学生の頃に遠足に行き、紫水晶を見つけ持ち帰った。  
♪喜多三の通りを隔てた家の向い側にあった1軒の魚屋が野村俊夫氏の生家。  
♪妹尾楽譜を買い、表紙の竹久夢二の絵も気に入っていた。  
♪蕎麦屋の広瀬庵の長男が主宰の福島ハーモニカソサイティーに入会しており、週に1、2度の頻度で広瀬庵の奥座敷で練習をしていた。

・・・と、かなり福島時代の内容やお好きな物情報も盛りだくさん♪

読んで頂くと古関裕而さんの温厚な性格にも触れることができますよ。  
戦時中の歌謡曲を制作する苦悩なども赤裸々に描かれていらっしゃいます。

ぜひご一読いただき、エールで描かれる古山裕一さんとご本人像を比較しながらご覧頂く楽しみも増えますね♪

### その3 NHK 朝ドラのタイトルロゴの使用範囲がさらに広がりました！！

ですが！福島市の事業者様から NHK エンタープライズ様への申請は、**今現在 0 件！！**  
他の朝ドラの時より申請ペースがゆっくりのため、関連各所で非常に心配の声が・・・  
NHK 様も奔走してくださり、使用範囲がかなり拡大しましたので、ぜひご活用ください！！

#### 1) 番組タイトルロゴ※

番組タイトルロゴをお使いいただける主な商品区分は以下の通りです。かっこ内は主な商品例です。

※このたび、「布製品」「食料品」「飲料類」が新たに追加されました。（2020年1月）



■菓子類（和菓子、洋菓子、パン等）

■布製品（タオル、手ぬぐい、ハンカチ等）※今回追加

■食料品（ソーセージ類、ちくわ、漬物、果物等缶詰類、肉製品、加工水産物、加工野菜&果実、油揚げ、

即席味噌汁、即席カレー等、豆腐、納豆、豆乳、ふりかけ、ぎょうざ、たこ焼き、すし、弁当等）※今回追加

■飲料類（日本茶、コーヒー、ココア、清涼飲料、果実飲料、ビール、日本酒、洋酒、果実酒、酎ハイ、

梅酒等）※今回追加

■穀物加工品（蕎麦麺、うどん麺、中華麺、麩等）

■宿泊施設の提供・提供の媒介又は取次ぎ等

■ノベルティグッズ（販売せず配布するもの）

#### 2) 一連ゴシック体文字「連続テレビ小説エール」（単色/カラー）

### 連続テレビ小説エール

#### 連続テレビ小説エール※

一連ゴシック体文字「連続テレビ小説エール」をお使いいただける主な商品区分は、以下の通りです。

■雑貨（キーホルダー、文房具、玩具、食器等）

■衣類他（衣料品、かばん等）

■日用品（化粧品、せっけん等）

※) 一連ゴシック体文字「連続テレビ小説エール」の文字色を番組ロゴと合わせた色味に変更した“カラー版”は、番組の『サブロゴ』的な扱いとして公式のホームページなどで使用される予定です。

※カラー版の使用に関して補足

・色の種別、色の並び順、フォントの種類などは変更不可です。（フォントサイズの変更は可）

・文字の他に音符やイラストなどをパッケージ等にあしらう事は可能ですが、その位置やサイズなどは監修が必要となります。

・こちらから供給するロゴや文字以外にイラストや写真などを使う場合、その商標権や著作権等は、各会社様にてご確認の上、各会社様の責任のもとにご使用ください。（タイトルロゴ使用時の注意点と同様です。）

**その4** 「朝ドラで観光客が増えると言っているけど、本当？」「うちの会社は何をしたらよい？」

11月に開催された朝ドラの波及効果の講演会で、なつぞらの舞台となった十勝の経済効果について、日本銀行釧路支店がまとめている『連続テレビ小説「なつぞら」の経済効果』がネットにも掲載されておりましたので、ぜひご覧ください。⇒ [日本銀行釧路支店まとめ『連続テレビ小説「なつぞら」の経済効果』](#)

**経済効果は95億円、直接効果が63億円、間接効果が32億円。**

その金額を打ち出した背景には

- ⇒ 「なつぞら」のロゴを使用したコラボ商品の開発。
- ⇒ 十勝産食品のブランド化

これがあったからだそうです。

じゃあ、いったい何をしたら・・・

企業様が単独で考えるのは非常に大変ですよ。ですので、こちらのメール通信を活用して頂き、発信したい商品などがありましたら、ぜひ遠慮せずにご相談ください！！  
連携できる企業様とマッチングをさせて頂くなど、一緒に波及効果の恩恵を受けていきましょう♪

すでに11月末に締め切らせて頂いた意向調査を頂いている企業様も、今後はこちらのメール通信で連携をさせて頂こうと考えております。

間違いなくお客様はいらっしゃいますし、朝ドラ効果とオリパラのダブルの波及効果はもうそこまでやっています！

このチャンスを活かせるかどうかは皆様次第です！！そして今の取り組みがベースとなれば、朝ドラの放送終了後やオリパラ後も効果を持続させることが可能になります。

何もしなければ朝ドラの一時的な効果で終わってしまいます。千載一遇のチャンスをぜひ掴みましょう！

**福島市は朝ドラとオリパラを同時に行える唯一の街です！！**英国誌ガーディアンに福島県が「2020年に行くべき20の場所」に選ばれたと8日の福島民友新聞にも掲載されておりましたね。未知の福島、その先の福島を楽しむために、今何をしたらよいのか、お手伝いをさせていただきますよ♪

それでは、またメール第5号でお目にかかりましょう！ありがとうございました。

**♪NHKタイトルロゴに関するお問い合わせ♪**

株式会社NHKエンタープライズコンテンツ展開センターライセンス事業

〒150-0047東京都渋谷区神山町4-14第三共同ビル4F

電話：03-5478-8171 FAX：03-5478-9638

担当：安藤雅章(ando-ma@nhk-ep.co.jp) 有泉耕(ariizumi-ko@nhk-ep.co.jp)

**♪メール通信に関するお問合せ♪**

福島市観光コンベンション推進室（鈴木祐二）[TEL:024-572-5719](tel:024-572-5719)

E-mail:yuuji-114@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市観光コンベンション協会（金澤千裕）[TEL:024-563-5554](tel:024-563-5554)

E-mail:chihiro-k@f-kankou.jp

